

日本国 首相官邸
内閣総理大臣 高市早苗 殿

お世話になっております。
添付の通り

*救護報償金に於ける国としての制度化について

上記標題として提案書とさせて頂きたく、
何卒 御思慮の上、閣内及び議会に於いての議題の一つとして活発な御議論を
切に願う次第であります。

尚、貴殿に対する郵便物授受フローに沿った、安全面での検閲等を実施して頂いた後の
御拝読を頂いても構わないことを理解した上での郵便物の送付とさせていただきます。

〒001-0011

北海道札幌市北区北 11 条西 3 丁目 2 - 2 3 - 2 2 2

高桑 広仁

連絡先：

日本国 首相官邸
内閣総理大臣 高市早苗 殿

救護報償金に於ける国としての制度化について

既存の制度では
救護に当たった医療従事者及びその他一般市民に対する
各地方自治体に於いて交通事故の負傷者や行方不明者を救護または医療機関へ搬送した
善意の協力者に対し、労をねぎらい、その活動を促進するために各自治体（警察や消防など）
から支給される報労金・報償金制度警察や消防から報償される制度となっているが、
支給額が各々の自治体により異なり、数千円から壱万円程度の金額である。

良策である旨は異なく、国の制度として策定及び制度化すべき人命救助という
尊敬すべき貴なる行為に対する「大いなる感謝及び労い」を具現化した内容を
盛り込むべく、次頁総務省推計による参照資料を以てしても、
人口減少に対する、少なからず諸々の対策の一つとして
国として制度化を講ずべき事態に至っているのではなかろうか。

令和 8 年 6 月 1 3 日

〒001-0011
北海道札幌市北区北 11 条西 3 丁目 2-23
ノースタウンハウス 222

高桑 広仁

連絡先：

参照資料-総務省推計

日本の人口減少データ（最新推移）総人口の減少

年間約 55 万人減

日本人人口の減少： 年間約 90 万人超減（1 日あたり約 2,500 人ペース）

出生数： 年間約 68 万人（過去最少を更新）

死亡数： 年間約 160 万人（過去最多を更新）

現代の人口減少（年間約 90 万人減）減少ペース: 2024 年のデータでは、日本人だけで年間約 90 万 8000 人の減少（1 日あたり約 2,500 人減少）となっており、総務省の推計でも過去最大規模の自然減が続いています。

主な要因: 戦争によるものではなく、少子高齢化による「出生数 < 死亡数」が原因です。

国勢調査のデータ: 2025 年国勢調査の速報値によると、直近 5 年間で日本の総人口は過去最大の約 309 万人減少しました。

太平洋戦争時の人口減少（戦没・戦災による急減）死亡数の推計: 1944 年から 1945 年にかけては戦争による犠牲者が集中し、この 2 年間の日本人の超過死亡数は約 376 万人と推計されています（軍人や民間人の戦死・戦災死含む）。

人口比率: 当時の日本の総人口は約 7,200 万人～7,300 万人であり、

総人口に対する**年平均の減少率は約 0.5%ほど**でした。

このように、「総人口に対する減少率」では戦時中のほうが激しかったものの、

「平時の自然減」として 1 年間に失われる人数規模で比較すると、

現代の日本は戦争中と同等以上のスピードで人口が減少している状況です。